

第85回宮城県党会議開催 日本共産党第28回大会決定を力に

衆院比例 東北ブロックで **必ず** 2議席を **実現しよう!**



参加者の声援にこたえる(右から)安住、中島、ふなやま、紙、石垣、沼沢の各氏

立憲民主党の安住淳・石垣のりこ氏らが連帯あいさつ
ふなやま由美衆院比例候補が議席挑戦の決意表明

日本共産党宮城県委員会は2月9日、第85回県党会議を松島町で開催しました。党会議には、立憲民主党

党員連顧問の安住淳衆院議員や石垣のりこ参院議員、国民民主党県連代表の沼沢真也仙台市議が連帯あいさつし、大きな拍手に包まれました。

安住議員は、政権を取る歴史的な総選挙に向けて、しっかりとした政策合意をつくり「政権をとるにつれていこう」と訴えました。

紙智子参院議員、ふなやま由美衆院比例東北ブロック候補が決意表明しました。

中島県委員長が、市民と野党共闘を大きく発展させ、次期総選挙の東北ブロックで2議席を勝ち取る方針を提案。党勢拡大に奮闘する支部の経験などの発言が続きました。会議は、52人の県委員

●ふなやま由美 衆院比例東北ブロック候補

今度こそ衆院選で850万票、宮城で14万票を獲得し、高橋ちづ子衆院議員に続いて必ず比例2議席を獲得するために全力でがんばります(拍手)。

第85回県党会議ですが、私たちは新たな歴史の1ページを体験しています。他の方が来賓あいさつされる歴史的な瞬間です。第28回大会でも各野党、市民団体のみならず、仲間としてのあいさつをいただき胸が熱くなりました。安住淳さんが山本宣治を語

る、今日は石垣のりこさんが高橋とみ子を語る。本当にうれし。お互いの違いを認め合い、一致点で政治を前に進めるリスペクトの精神が、市民と野党の共闘を進展させていくことを実感しています。

(裏面へつづく)

日本共産党各地区委員会

- 仙山西地区委員会 (022) 225-2920
仙台東地区委員会 (022) 372-2604
塩釜地区委員会 (022) 364-3222
東部地区委員会 (0225) 22-6335
仙南地区委員会 (0223) 22-4036
北部地区委員会 (0229) 22-1252

●紙 智子 参院議員 (党参院議員団長)

国会では本格論戦が始まりました。安倍総理の政治の私物化やモラル崩壊が際立っています。「桜を見る会」では、功績、功労とは関係なく、安倍事務所は後援会の幅広い人から募って公費で飲み食いさせていた疑いがある。安倍首相は「幅広く募ったけれども募集していない」と答えたが、ネット上でも批判が飛び交っています。

一日も早く安倍政権を引きずり下ろし、新政権をつくらなければならぬ。市民と野党の真剣な共同を進展させ、国民の世論と運動を高めた。そして安倍政権の支持率を一気に激減させるため

●安住 淳 衆院議員 (立憲民主党国対委員長・県連顧問)



来賓あいさつする安住衆院議員

本日はおめでとうございます。先般の党大会でご挨拶し、「赤旗」や「前衛」で取り上げていただきありがとうございます(拍手)。

この間三回の大きな選挙で野党共闘でここまで実を上げたのは宮城県です(拍手)。ただし約束を守らない人がいるので厳しい態度で臨みます。

●石垣のりこ 参院議員 (立憲民主党宮城県連代表代行)

昨年の参院選でご支援いただき感謝いたします(拍手)。誰一人欠けても成り立たない接戦でした。

先日は、塩釜の共産党の会場で「未来を信じてたたかった高橋とみ子さん、不屈の青春」というチラシをいただきました。

「宿泊税」反対の声強く 県説明会に事業者ら怒り



31日知事に「絶対反対」と訴える事業者ら

宮城県の村井嘉浩知事は1月31日、ホテルや旅館での宿泊に課す「宿泊税」導入を狙い、事業者向け説明会を仙台市内で開き約200人が参加。導入に強い反対の声が相次ぎました。

県側は冒頭の知事発言の直後に報道関係者の退出を要求。しかし事業者側が「なぜ報道を締め出すのか」と抗議して説明会は公開に。知事は「財政は大変厳しい」と繰り返しました。

村井知事は「近いうちで意思決定したい」と2021年度の導入を狙う考えを示しました。

仙台市内のビジネスホテル業者は、「少ない遠征費で泊まる県内の高校や中学校の(スポート)選手たちに課すことはやめて」と要求。おかみ会の阿部憲子会長は「去年は台風19号の影響でキャンセルが発生した。痛手を受けた中にある」と訴えました。

先輩がたくさんいます。共産党には女性議員が非常に多い。来る衆院選で高橋ちづ子議員、ふなやま由美さんの二人を国会に送るといふみなさんの思い。私も野党勢力を拡大し、安倍政権を倒して民主主義国家を再生させる使命をもっています。

全国から「宮城は野党共闘うまくいっているね」と言われます。多くの方が土壌をつくってくれた。そしてここ数年、

「ふなやま由美 衆院比例東北ブロック候補のあいさつ 表面からつづき」

党大会で改定した綱領で、発達した資本主義国での社会変革こそ社会主義・共産主義の大道であると規定しました。ルーある経済社会と人権保障、貧困と格差もない、平和で国民の個性が輝く社会をつくる今の私たちの一つ一つのたたかいが、新しい社会に地続きでつながっています。

中国の見方について、人権を奪う香港の弾圧や領海侵犯を繰り返す事実を即して、社会主義の名に値しない行為であり、改定では「社会主義をめぐす国々」という規定を削除しました。ただし排外主義を煽ることはせず、道理に基づく対応で真の日中友好を実現する立場です。人権保障の社会を前進させる点でジェンダー平等を掲げています。男性も女性も多様な性のあり方も認め合い、

「立憲民主党 安住淳衆院議員の来賓あいさつ 表面からつづき」

私は宮城県で58年間生きてきました。牡鹿半島のそれほど豊かでない漁村で、人々が懸命に働いている中で育ちました。朝4時ぐらいから牡蠣剥きのための漁場に行き、休みの日は子どもたちも「からかさ」というのをやらされて、必死に生きてきました。進学率も決して高くない。しかしひたむきに生きる人たちがひたむきに生きてきたから、私はみなさんより比較的保守的ですが反権力なんです。奇らば大樹が大嫌い。できるだけひっそりと生きている人たちに応援したい。

安倍政権のもと市民と野党の共闘ということ、前々回の参院選の半年前に、志位委員長と穀田国対委員長と私と当時の岡田代表で東京都内で会い、「思い切った選挙協力をやろう」と助走を始めた。これは当時、率直に言うところ民進党はそれ

「こはみなさん」ということを決めながら、総選挙に向けた話し合いをしっかりとやっていきたい。私は逃げるつもりはまったくない。たんに安倍暴走を止めるだけでは済まない政権を担う選挙。天皇制や安全保障の問題、資本主義をどうとらえてどう課税をし、セーフティネットをつくるのか、とごん合意を得たいと思っています。ありがたいのは、志位委員長は私なんかの国対委員長の勉強会にもおいでになり、「私たちは継続して政策は掲げます。しかし新しい政権を作るときにそれぞれの政策をそのまま持ち込んだら成り立たないから、そこにミッションをきちっと入れてやろう」と思っている」ということでした。

だからこそ、史上初めての日本共産党の比例二議席を実現への思いを強くしています。

みなさん、2年後には党創立100周年を迎える今年2020年、しっかりと仲間をひろげ増やし党自身の力を大きくしながら、必ず勝利を勝ち取りましょう。その先頭に立ってがんばります(拍手)。

と塊をつくり、政策的にも選挙的にも一本になって闘えるそのプロセスを、県民のみなさんはずっと固唾を飲んで見ている。ここをみなさんと一緒にうまくゴール地点にたどり着きたい。

私たちの県では三回の選挙で市民と野党の共闘が「あつん」の呼吸でなるとなってきた。これが、これから本場の意味で政権を担う歴史的な選挙になり、そして政権を持続しなければなりません。先の民主党政権のように三年で崩壊したというわけにはいきません。格差の広がった社会を交えるには2、3年では足りないからです。そして持続性のある社会を作るには、私たちがもっと根をすえて現実と向き合い、現実的な施策を遂行していかなければならない。そのためには長く政権を担えるだけの持続性のある体制をもつていく。これ以上高

県美術館移転ストップ!! 市民ら集い

宮城県が仙台市青葉区にある県美術館を宮城野区へ移転すると突如、方針転換した問題をめぐり、各界有識者や市民らが語り合う「文化芸術版仙台ラウンドテーブル」が1月25日、仙台市で開かれ200人超が参加しました。主催は県建

築士事務所協会など。現地改修を基本に検討するとして「県美術館リニューアル基本構想(2017年3月)」をまとめた県懇話会の委員だった吉川由美氏は「突然の移転(方針)で寝耳に水」と発言。「自然に囲まれた環境」にある現美術館の

価値を訴えました。商店街振興にとりくむ一般社団法人「まちくる仙台」の石井光二代表理事は「文教地区に美術館があることは大きな意味がある。移転に反対」と表明しました。

名取市議選(定数21、立候補22人)が1月26日投票され、日本共産党の現職、小野寺みほ(59)、齋ひろみ(45)、新人の笹森なみ(47)の3候補が当選し、現有議席を確保しました。

3候補は、待機児童の解消や子どもの医療費を

名取市議選 現有3議席確保

高校卒業まで無料にして所得制限・通院500円負担も撤廃するなど子育て支援を強化すること、国民健康保険税のさらなる引き下げなど、福祉・医療・公共交通の充実で誰もが安心して暮らせる名取市にしようと訴えました。



7日 県の担当者に趣旨説明する市民ら

宮城県が2月県議会に「宿泊税」導入の条例案を提出しようとしている問題で、商工団体や労組、市民団体など14団体でつくる3・13重税反対全国統一行動実行委員会は7日、村井嘉浩知事に条例提案しないよう求める要請書を提出しました。

実行委員長の三戸部尚一(県商工団体連合会会長)が、佐藤靖彦経済商工観光部次長に要請書を手渡し、趣旨を説明しました。

多くの県民が知らないこと、パブリックコメントや説明会でもほとんどの意見が反対であり、1000円単位の誘客競争の中で宿泊客が県外に流出し、地域経済が悪化する。地域経済が悪化する。地域経済が悪化する。地域経済が悪化する。

仙台市 党市議団要望に市が回答

日本共産党仙台市議団が郡和子市長に提出していた予算要望に対し1月27日、市が回答しました。

党市議団は昨年10月、新年度予算案の編成にあたり、子ども医療費助成制度の拡充、給付型奨学金制度の創設、保育士や介護職員の処遇改善などの子育て支援や若者応援、公共交通の充実、医療・介護の拡充、ジェンダー平等など40項目の予算要望を提出。

市は「子育て家庭の経済的負担を軽減するた

民主青年同盟 県議会各会派に要望

日本民主青年同盟宮城県委員会は5日、県議会各会派控室を訪れ、青年の生活と雇用を守るための政策⑤の実現を要望しました。

渡邊千咲委員長は、県内の10〜30歳の青年71人へのアンケート結果を示し、低賃金や長時間労働、奨学金返済の負担が深刻だと紹介。要望書の①県内で最低賃金時給1000円以上の引き上げ②正規雇用の拡大③フ

「宿泊税」はやめて!!

市民団体が知事に要請

宮城県が2月県議会に「宿泊税」導入の条例案を提出しようとしている問題で、商工団体や労組、市民団体など14団体でつくる3・13重税反対全国統一行動実行委員会は7日、村井嘉浩知事に条例提案しないよう求める要請書を提出しました。

実行委員長の三戸部尚一(県商工団体連合会会長)が、佐藤靖彦経済商工観光部次長に要請書を手渡し、趣旨を説明しました。

多くの県民が知らないこと、パブリックコメントや説明会でもほとんどの意見が反対であり、1000円単位の誘客競争の中で宿泊客が県外に流出し、地域経済が悪化する。地域経済が悪化する。地域経済が悪化する。地域経済が悪化する。

民主青年同盟 県議会各会派に要望

日本民主青年同盟宮城県委員会は5日、県議会各会派控室を訪れ、青年の生活と雇用を守るための政策⑤の実現を要望しました。

渡邊千咲委員長は、県内の10〜30歳の青年71人へのアンケート結果を示し、低賃金や長時間労働、奨学金返済の負担が深刻だと紹介。要望書の①県内で最低賃金時給1000円以上の引き上げ②正規雇用の拡大③フ

将来に不安しかない」などの声が寄せられています。

一緒に要望に訪れた大學生は「複数の機関から奨学金を借りている。金額が大きく膨らみ、将来返済できるか不安」と訴えました。

日本共産党県議団の三浦一敏団長は「生の声をもった大変大事な要望です。実現へ全力をあげたい」と応えました。